

会議概要

会議名	第2回鹿児島市総合計画審議会
日時	令和3年3月30日（火）15時00分～17時00分
場所	市役所東別館3階 災害対策本部室
出席者	鹿児島市総合計画審議会委員 ※17名（欠席3名）
市出席者	事務局： 企画財政局長、企画部長、政策企画課長
会次第	1 開会 2 協議 （1）基本構想（素案）について （2）次回の会議開催について （3）その他
主な意見等	1 「基本構想（素案）」各項目に関する主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により、東京一極集中から地方の価値が改めて顕在化したところがあり、若者をはじめとした地方回帰の動きも踏まえ、これを契機に新しい地域のあり方や鹿児島の価値を考える視点が重要。 ・ 価値観の変化・多様化に対応するという観点だけでなく、社会における様々な機能や主体の複合化・協働・連携を率先、先導するという観点も重要（コミュニティ協議会、コミュニティスクール、地域包括ケア、まちなか図書館など）。 ・ 交流と言うと外から来ていただくイメージだが、交流には往来が大切であり、来てもらうだけでなく、こちらから出ていく事も重要。 ・ 中核市の中でこれだけ大学が集まっている都市は珍しく、地域づくりと大学という視点を盛り込めないか。 ・ 「ゼロカーボンシティかごしま」はいい取り組みだが、ただ自然のためというだけでは意味がない。その取組自体が他都市より勝っているとか、企業の競争力を上げるというようなことに結び付けられないか。 ・ ICTを活用した産業は、業態だけでなく、ICTを活用して農林水産業などの生産性を上げるとか、商品開発をするといった着想につながるような表現があればいい。 ・ キャリア教育は「信頼・共創政策」や「産業・交流政策」など、他の政策と連動・横断しやすく、本来、学力向上まで含めた用語であり、若年者の地元定着にもつながるので重要だと思う。 ・ 多様で柔軟な働き方とは、要はワークライフバランスである。 ・ 環境に関して市民全体で取り組んでいく表現を盛り込めないか。